

学術の変革をもたらす リサーチ・マインドを高めよう！

第18回JANSセミナーは新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、WEB受講といたします

- **申し込み**：2021年8月16日（月）正午～11月25日（木）
※郵便振込をご選択の場合は申込、入金締切日が異なります
JANSホームページからお申し込み下さい。
- **参加費**：会員3000円、非会員5000円、
看護基礎教育課程（大学、短期大学、専門学校等）の学生1000円
- **配信期間**：2021年8月16日（月）正午～11月30日（火）
参加費入金確認後、受講サイトURLをご案内いたします

開催趣旨

社会の変化が激しい現代、あらゆる領域で変革が求められています。看護学の諸分野において、新たな知や手法を生み出し社会に変革をもたらすには、どのようなリサーチ・マインドが必要なのでしょう。本セミナーでは、リサーチ・マインドに焦点を当て、看護学研究を担うあらゆる世代・立場の方が、学術の壁を乗り越えそれぞれの研究を戦略的に推進するための方法について考えていきます。

上田泰己先生からは、世界で初めて睡眠・覚醒リズムをモデルとした生体の一日の動的恒常性を解明するなど、システムズバイオロジーの革新的な研究成果を上げられてきたご経験から、変革につながる研究を実現するリサーチ・マインドについてお話しいたします。

また、看護学分野研究者3名から、現在従事しているご研究のご紹介とともに、新たなフロンティアを切り開くための望ましい研究環境とは何か、リサーチ・マインドをどのように涵養してきたのかについてお話しいたします。さらに最後に、講師のみなさまと一緒に、リサーチ・マインドを高め学術の変革をもたらすための研究への道筋について、ディスカッションします。

看護学研究を担うあらゆる世代・立場のみなさまが、学術の壁を乗り越え学際的研究を戦略的に推進するためのヒントを見つけていただければ幸いです。

配信内容

司会 小池智子・福井小紀子(研究・学術推進委員)

講演1:変革をもたらす研究を実現するためのリサーチ・マインドとは

講師:上田泰己先生(東京大学大学院 医学系研究科 システムズ薬理学教室 教授
理化学研究所 生命機能科学研究センター合成生物学研究チーム チームリーダー)

講演2:看護学の研究者としてのリサーチ・マインド

2-1:研究者としてのキャリア形成を支えるリサーチ・マインド

講師: 向井加奈恵先生(金沢大学医薬保健研究域保健学系 准教授)

2-2:社会を変えるチャレンジに挑むリサーチ・マインド(仮)

講師: 松本 勝先生(東京大学大学院医学系研究科社会連携講座イメージング看護学 特任講師)

2-3:看護学と社会との協働を推し進めるリサーチ・マインド

講師: 加澤佳奈先生(広島大学大学院医系科学研究科共生社会医学講座 特任講師)

シンポジウム:学術の変革をもたらすリサーチ・マインド

講師紹介



上田 泰己 先生

東京大学大学院 医学系研究科 システムズ薬理学教室 教授
理化学研究所 生命機能科学研究センター
合成生物学研究チーム チームリーダー

東京大学医学部卒(2000)、同大学院修了(2004)。理研チームリーダー(2003)、プロジェクトリーダー(2009)、グループディレクター(2011)を経て、2013年より東京大学大学院医学系研究科 教授。理研チームリーダー、東大院情報理工・教授(兼任)、東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構主任研究員(兼任)、阪大客員教授を兼務。専門はシステム生物学。概日時計、睡眠・覚醒リズムから生物の時間の問題に取り組む。「細胞を創る」研究会会長(2008)。さきがけ研究領域総括(2011—2018)。時間生物学会大会長(2015)。日本学術会議 若手アカデミー代表(2015—2018)。日本イノベーター大賞・優秀賞(2004)、東京テクノフォーラム21・ゴールドメダル(2005)、日本IBM科学賞(2009)、日本学術振興会賞(2011)、塚原仲晃記念賞(2012)、山崎貞一賞(2015)、イノベーター・オブ・ザ・イヤー(2017)、市村学術賞(2018)等を受賞。



向井 加奈恵 先生

金沢大学医薬保健研究域保健学系・准教授

2010年金沢大学医学部保健学科看護学専攻卒業後、2012年同大大学院医学系研究科保健学専攻にて修士(保健学)、2015年同大大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻にて博士(保健学)を取得。

同大学医薬保健研究域保健学系テニユア・トラック助教を経て、2020年より現職。皮膚創傷治療促進因子に対して組織学・分子生物学アプローチによるメカニズム解明や安全な穿刺技術のための超音波診断装置を用いた神経・血管のアセスメント等に従事。



松本 勝 先生

東京大学大学院医学系研究科社会連携講座イメージング看護学・特任講師

2008年金沢大学医学部保健学科卒業後、金沢大学附属病院にて勤務。2014年金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程修了、博士(保健学)。2014年金沢大学医薬保健研究域保健学系助教(基礎看護学・成人看護学)を経て、2017年東京大学大学院医学系研究科社会連携講座イメージング看護学特任助教、2019年より同特任講師。現在に至る。これまで看護理工学的手法を用いた研究に取り組み、現在は超音波検査(エコー)を用いたフィジカルアセスメントを専門とする。看護理工学会・日本創傷・オストミー・失禁管理学会、日本褥瘡学会評議員。



加澤 佳奈 先生

広島大学大学院医系科学研究科 共生社会医学講座 特任講師

2005年広島大学医学部保健学科看護学専攻卒業、独立行政法人国立病院機構 呉医療センター、広島大学病院等を経て、2014年広島大学大学院医歯薬保健学研究院成人看護開発学 助教。

2020年10月より現職。

慢性疾患看護・疾病管理、認知症を軸とした地域社会づくりなどに関する研究を行っている。
<https://researchmap.jp/kkazawa>

本セミナーは看護基礎教育課程(大学、短期大学、専門学校等)に在籍する学生の皆さんも聴講できます！

最新の研究に触れ、学部生のときからリサーチマインドを培っていきましょう！

以下のような学生の皆さんにお勧めします

- ・最先端の研究がどのように生まれ行われているかを知りたい
- ・社会をよりよくしていくことに貢献している 看護学の研究を知りたい
- ・学生時代から研究に意欲的に取り組んでみたい
- ・将来、看護学の研究者を目指したい
- ・看護学の研究コミュニティをのぞいてみたい



詳細・申込はこちらから